

2017年7月11日

日本メジフィジックス株式会社

循環器領域での新たな PET 診断薬開発に着手

～GE Healthcare グループ (GE Healthcare Limited) から国内独占的商業化権を獲得～

日本メジフィジックス株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長:下田尚志、以下「当社」)は、GE Healthcare グループである GE Healthcare Limited(本社:英国)と PET 検査(陽電子放射断層撮影法)用心筋血流イメージング薬剤 ^{18}F -Flurpiridaz(以下、フルルピリダズ)の国内での独占的商業化権を取得するライセンス契約を締結しました。

現在 PET 検査は、ブドウ糖誘導体であるデオキシグルコースを放射性フッ素(^{18}F :半減期 110 分)で標識したフルデオキシグルコース(FDG)が利用され、悪性腫瘍の診断を中心に年間約 60 万件実施されています。今回契約を締結したフルルピリダズは、PET 検査において心臓の血流を画像化することを目的として開発中の心筋血流イメージング薬剤です。PET 検査は従来の SPECT(単一光子放射断層撮影)検査と比較して高い空間分解能と定量性を有しているため、診断精度の向上が期待され、人口高齢化や食生活の変化により患者数が増加している心疾患の診断に寄与できるものと考えます。

なお、GE Healthcare の Core Imaging 事業(造影剤・放射性薬剤、PET 剤合成装置等)General Manager である Emmanuel Ligner 氏は今回の契約締結について、「フルルピリダズの承認が得られれば、PET 心筋血流イメージング薬剤として、心疾患の中でも最も患者数の多い冠動脈心疾患(CAD)の診断向上が期待される。GE Healthcare は日本メジフィジックス株式会社との緊密な協力体制のもと、フルルピリダズの開発計画とともに医薬品としての供給と院内製造の双方の普及のために力を尽していきたい。」と述べています。

日本メジフィジックス株式会社について

日本メジフィジックス(<http://www.nmp.co.jp>)は、住友化学株式会社と GE ヘルスケアグループの合弁企業で、日本国内において核医学分野のリーディングカンパニーです。当社は、今後も腫瘍、中枢神経、循環器などの主要疾患領域において、高品質な製剤の開発、製造、供給を通じて、今後も医療のさらなる発展のために貢献を続けてまいります。

本件に関するお問い合わせ先: 日本メジフィジックス株式会社 総務部(広報担当) 電話 06-4300-5541

本社 電話 03-5634-7006